

「『ほめあうまち なかつ』推進事業」について

1. 趣旨

学校教育で人権教育、道徳教育が行われているが、実際子ども達の生活の中では、相手の気持ちを考えない言動や未成熟なコミュニケーションによるトラブルや自分自身を大切にしない自尊感情の未発達による様々な課題が見受けられます。また、家庭や地域においては、子ども達の学習活動や体験活動についての関心は高いが、子ども達の人権感覚や規範意識を高めることは、学校任せきりのところがあります。

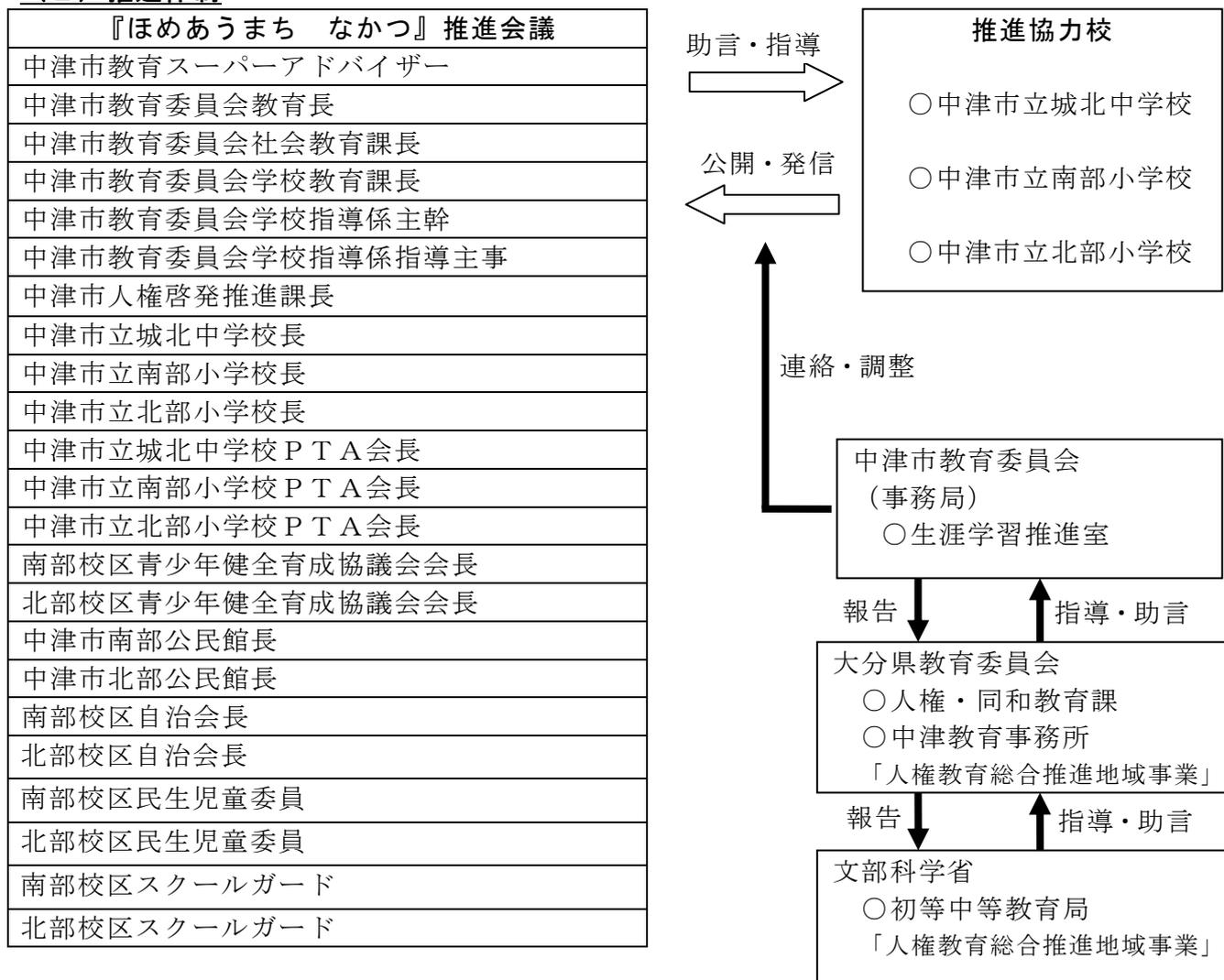
そこで、学校・家庭・地域社会の協働により、校区内の人権教育を推進することを通して、子ども達の自尊感情や規範意識、コミュニケーション力を育み、合わせて地域社会の住民の人権意識の向上を目指します。

2. 事業内容

（1）スローガン『ほめあうまち なかつ』（*ほめあう…新しい価値を発見し、伝え合う）

学校・家庭・地域が一体となり、ほめあうことをコミュニケーションツールとして、子ども達の自尊感情を育む人権教育を推進し、自分のよさとともに他の人のよさを認めることができる子どもの育成と人権意識が高い地域住民の育成によるコミュニティを創造します。

（2）推進体制



■中津市教育スーパーアドバイザー

本事業推進のために菊池省三先生に教育委員会が委嘱。菊池先生は、元小学校教諭で、学校現場に即した独自の実践によりコミュニケーション力あふれる教育の重要性を提唱。NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」、テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ」、日本テレビ「NEWS ZERO」「世界一受けたい授業」などにも出演し、大きな反響を得ています。先生が主宰する「菊池道場」（北九州市）には、多くの教員が学び合い、全国に40カ所の支部があり、教育界に大きなムーブメントを起こしています。主な著書に『学級崩壊立て直し請負人』（新潮社）、『菊池先生の言葉のシャワーの奇跡』（講談社）、『小学校発！一人ひとりが輝くほめ言葉のシャワー①～③』（日本標準）などがあります。2015年3月に小学校教諭を退職後、ご自身の教育実践をより広く、より積極的に広げながら、21世紀の教育を目指し、執筆、講演活動中で、年間講演数は100カ所以上に上ります。



(3) 事業の流れ

- ・教育スーパーアドバイザーによる公開授業研究により児童生徒にモデルスキルの習得
- ↓
- ・教育スーパーアドバイザーによる指導、助言により、保護者、地域住民への公開授業の趣旨説明及び支援協力、保護者、地域住民への学習参加及び実践取り組みへの啓発
- ↓
- ・教育スーパーアドバイザーの公開授業をモデルとした推進協力校の教職員による研究授業の実践
- ↓
- ・家庭、地域住民による『あいさつプラスワン（ほめあい）』運動の実践
- ↓
- ・児童生徒同士の日常の授業等における認め合いの実践
- ↓
- ・児童生徒同士の『あいさつプラスワン（ほめあい）』運動の実践
- ↓
- ・家庭、地域の中での児童生徒とまわりの人たちとの『あいさつプラスワン（ほめあい）』運動の実践
- ↓
- ・自尊感情、コミュニケーション力の向上にともなう姿、態度の現れ（あいさつの励行、自他ともにたいせつにする言動。落ち着いた生活習慣、規則正しい日常生活など）
- ↓

地域全体が「ほめあうまち」になる。

(4) 平成28年度スケジュール(予定)

月	日	内 容	『あいさつプラスワン』運動
4月	下旬	・第1回「ほめあうまち なかつ」推進会議	
5月	中旬	・第1回Q-U検査(城北中、南部小、北部小)	
	31日	・城北中学校公開授業研究会、北部校区講演会(菊池先生)	
6月	30日	・南部小学校公開授業研究会、南部校区講演会(菊池先生)	
9月	上旬	・対象校区世帯パンフレット配布	
	16日	・南部小学校公開授業研究会(菊池先生)	
	14日	・北部小学校公開授業研究会(菊池先生)	
10月	28日	・城北中学校公開授業研究会(菊池先生)	
1月	27日	・北部小学校PTA人権研修会(菊池先生)	
2月	中旬	・第2回Q-U検査(城北中、南部小、北部小)	
3月	中旬	・第2回「ほめあうまち なかつ」推進会議	
	18日	・中津市「協育」フォーラム 成果発表	

■Q-U検査

子どもたちの学校生活における満足度と意欲、さらに学級集団の人間関係の状態を調べることができるアンケート調査です。協力推進校の6年生以上に本事業の前後で実施することにより、事業成果が検証できます。

(5) 期待される効果

学校 学ぶ意欲を持った学習集団づくり

自他のよいところに気づき、互いにほめあう実践を学校生活の中で日常的に励行することで、児童生徒の自尊感情が育まれるとともに、コミュニケーション力や自他を思いやることのできる人権意識の高まりが期待でき、規範意識が高いよりよい学習集団づくりにつながります。

家庭 基本的な生活習慣を養う家庭づくり

家庭の教育力の低下が問題となっている中、家庭での日常的な生活で特に親が子どもをほめる実践を通して、親子の良好なコミュニケーションが図られ、あいさつや行儀など基本的な生活習慣を身につけさせることができます。

地域 人権意識が高い地域づくり

地域社会の希薄化が進行する中、子どもを中心にして、学校、家庭、地域が一体となっていく人権学習や実践を通して、地域ぐるみで学校、子どもを見守り育む機運がさらに高まり、優れた人権感覚を持った市民が育成されることにより、地域コミュニティの再生及び成長にもつながります。